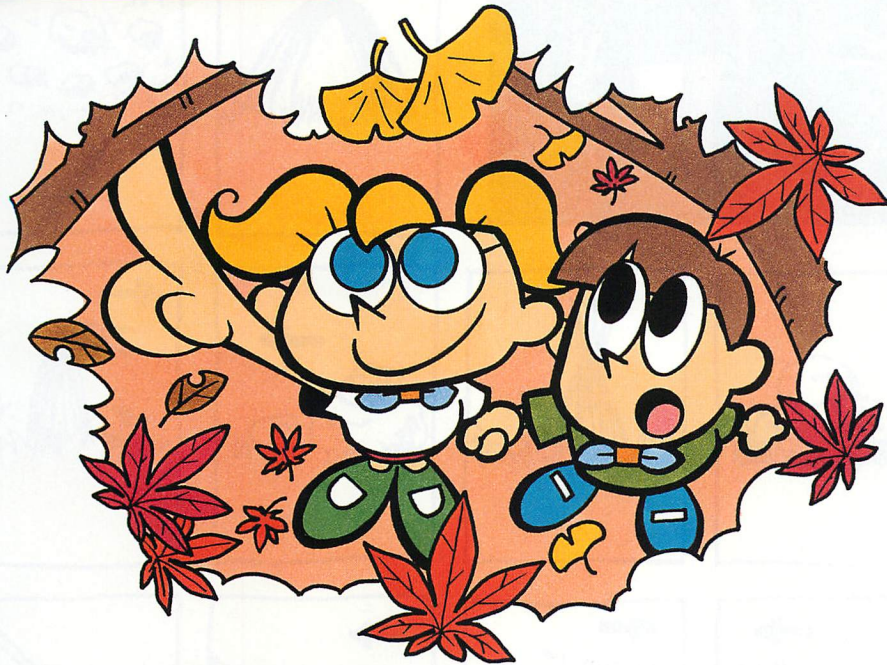


## お気に入りの スケッチしよう

森の中をあるきながら、いろいろな葉っぱを見てみよう。そしてその中からたった1枚、きみが気に入った葉っぱをえらんでみよう。だれにもつたってもらわずに、ひとりでお気に入りを決めたら、とくちょうをじっくりかんさつしてスケッチブックに同じ大きさでその絵をかいてみよう。



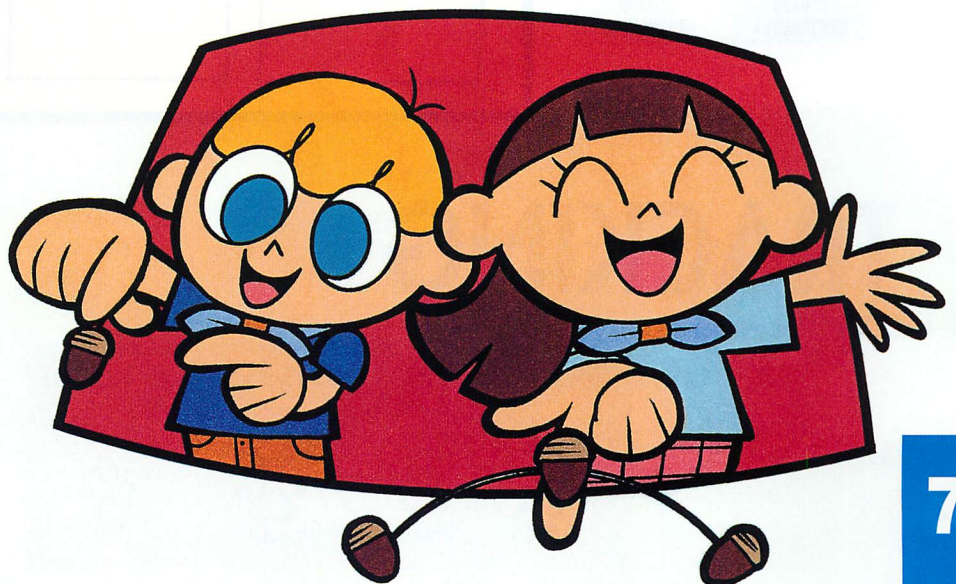
# 森の中をあるいてみよう おち葉や木の実をあつめて遊ぼう！

遊ぶことが大好きなビーバースカウトにとっては、自然の観察も遊びの延長のようなものです。その気になればいつでもどこでも観察ができます。季節の移り変わりを、ビーバーたちが最もはっきりと実感できるのが、植物の変化です。地域にある広場や公園でも秋の気配を感じることはできますが、郊外に足を伸ばしてみると、お馴染みのハイキングコースの周辺に、素敵な森や雑木林がきっとあるはずですよ。

森の中を歩いて行けば、春や夏とは一味違った発見が必ずあるものです。その中でも特にきれいなのが、葉っぱの色の変化です。秋が深まるにつれて、森は静かにその表情を変えていきます。黄色や赤、その中にも微妙な濃淡があることがわかります。よく見るとそれぞれに個性があり、同じ大きさ、形、色の葉は決して存在しないものなのです。

またビーバーたちにとってワクワクするほど楽しいのが、どんぐり拾いです。どんぐりも種類によって形や色、大きさも様々です。

ただ集めるだけでなく、虫眼鏡で観察しながら分類してみると良いでしょう。さらにどんぐりを使ったいろいろな遊びや工作など、アイデア次第でビーバーの活動は発展します。



## ビーバースカウト

### 葉っぱを分けてみよう

森の中で目印になるような大きな木を3~4本選び、幹や枝にリボンを結ぶなどに印を付けます。これらの木に囲まれた範囲(仮想の線でつないだエリア)でビーバーたちは一生懸命落ち葉を拾います。

#### ■ 大きさで分けてみよう

集めた落ち葉を大きい順に並べてみましょう。誰が一番大きな落ち葉、小さな落ち葉を発見することができるでしょうか。

#### ■ 色で分けてみよう

緑、黄、赤、茶色、そしてその中間。色ごとに葉っぱを分類してみましょう。植物によっては、同じ種類なのに色が違うという不思議について考えましょう。

#### ■ 形や模様で分けてみよう

丸い形、ギザギザ、縞模様、斑点など、形や模様注目して分けてみましょう。

